

事務事業総点検に係る対応方針

政策企画部

所管部署	事務事業名	今後の方向性	具体的な取り組み内容	備考
企画課	学園都市ひらかた推進協議会事務	改善	枚方市と枚方市内の6大学で構成した学園都市ひらかた推進協議会の主催事業から、市と各大学が、「健康・医療」や「教育・文化」あるいは「地域連携」など各大学の専門を活かした分野において協定書を締結し、各大学と市民等との交流や連携の機会の拡大を図る「学園都市ひらかた連携モデル」にシフトすることで、大学・市民・行政の3者の連携を強化していく。	平成24年度 二次対象事業
企画課	淀川舟運推進事業(企画課)	現状のまま継続	淀川舟運整備推進協議会の総会、幹事会を開催するとともに、国土交通省近畿地方整備局へ要望活動を行う。	
企画課	市内高等学校長・市長懇談会事務	現状のまま継続	今後の在り方を含め検討する。	平成25年度 二次対象事業
企画課	総合文化施設整備事業	現状のまま継続	引き続き、施設整備に向けて、財政の長期的な見通しを踏まえ、財源と事業手法の検討を行う。	
企画課	基本計画策定事業	休・廃止	平成21年4月に第2期基本計画を策定した。	
企画課	行政運営調整事務	現状のまま継続	今後も効率的で効果的な執行体制に努め、迅速化と高精度化を追求していく。	
企画課	政策決定・進行管理事務	現状のまま継続	引き続き市政の基本方針等の決定の場を設けるとともに庁内周知を図る。重要施策や事業の進行管理を行う。	
企画課	北河内地域広域行政推進事業	現状のまま継続	引き続き、北河内7市で、広域的な課題の調査研究、情報交換及び連絡調整を図る。	
企画課	企画課運営事務	現状のまま継続	庶務関係事務等を正確かつ迅速に処理することにより、所管事務を円滑に執行する。	
企画課	施策評価運営事務	改善	市民が適切に評価できるアンケート手法や効果的な施策指標などの検討を進めるとともに、より制度の効果を高めていくため、市民ニーズを踏まえた施策評価の結果を次年度以降の予算・事業計画により的確に反映できる制度への改善を図る。	平成24年度 二次対象事業

所管部署	事務事業名	今後の方向性	具体的な取り組み内容	備考
企画課	サブリ村野改修事業	現状のまま継続	耐震や改修工事を行い、平成25年4月の開設をめざす。	
秘書課	秘書事務	現状のまま継続	現行の取組み方策を引き続き適用する。	
秘書課	秘書課運営事務	現状のまま継続	現行の取組み方策を引き続き適用する。	
広報課	FM放送活用事業	改善	緊急時の情報発信の方策として、現状では臨時放送設備機材の定期的な点検や操作訓練を行っている。今後は実際の放送による訓練が行えるよう関係機関に働きかけるなど、さらなる情報発信体制の強化に取り組む。また、来年度以降本市で実施する防災行政無線のデジタル化に合わせ、危機管理室等市関係機関との連携をさらに強化し緊急体制の再構築などを行う。 厳しい財政状況が続く中で、放送委託料の見直しを順次行うなど、さらに効率的な予算執行に取り組む。また、今後市からの放送委託料が削減されても、市以外のスポンサー拡充などの経営努力でFMひらかたが会社として維持していけるよう、「経営戦略プログラム」の策定をFMひらかたに求め、魅力ある番組作りに加え、自主財源の拡充策・経費削減策を構築することで、経営の自立性を高めていけるよう助言していく。	平成24年度 二次・三次対象事業
広報課	ケーブルテレビ放送活用事業	現状のまま継続	本事業を現状のまま維持し、より市の魅力を発信でき、貴重な映像財産となるよう番組作りに取り組む。	平成24年度 二次対象事業
広報課	広報ひらかた発行事務	現状のまま継続	年に1回を目安に紙面内容の見直しを行うなど、市民にとってより分かりやすく魅力ある紙面作りに取り組む。	
広報課	ホームページ運営事業	現状のまま継続	各課によるホームページ作成を促し、掲載内容の質・量の拡充を図る。	
広報課	広報活動及び報道機関対応事務	現状のまま継続	今後もより多くのメディアに取り上げられるよう情報発信リーダーを設置し、効果的・積極的に市の施策などをPRしていく。	
広報課	ひらかた便利帳発行事業	現状のまま継続	発行方法や発行部数などを再検討して、定期的に改訂して発行していく。	
広報課	市勢要覧発行事業	現状のまま継続	平成25年度に増刷予定。	
広報課	機関紙コンクール等事業	現状のまま継続	講習会に参加しやすい時間や、PTAだけでなく地域コミュニティにも積極的に呼び掛け、より多くの人に参加してもらう。	
広報課	広報課運営事務	現状のまま継続	事務の効率化を図りながら適正に執行していく。	

所管部署	事務事業名	今後の方向性	具体的な取り組み内容	備考
広報課	【緊急雇用創出基金事業】ホームページ情報発信推進事業	休・廃止	【緊急雇用創出基金事業】についてはシステム構築に係る経費だけであったため、継続して行っていく保守管理等について従来から事業計画に掲げている「ホームページ活用事業」に統合するもの。	
市民相談課	市民相談事業	現状のまま継続	専門相談では法律相談の予約システムを取り入れ、市民の効率的な利用の促進を図っている。また、相談関係機関一覧を更新することにより、関係機関との連携をさらに図るよう努めている。今後、多様な市民の相談内容に対応できるよう、専門相談及び生活相談を引き続き実施していく。	平成25年度 二次対象事業
市民相談課	市民の声運営事務	現状のまま継続	定められた処理手順に従い、市民からの意見・要望等に対応する。さらに、各部署で業務に生かすために市民の声を集計し傾向の分析を行う。	
市民相談課	市民と市長の対話集会事務	改善	市長がより幅広く市民と意見交換を行うため、平成24年度に参加者公募型の「ひらかた未来トーク」及び団体を対象とした「まちづくり、ふれあいミーティング」を実施。平成25年度は、「ひらかた未来トーク」を開催するにあたり、事前に市民の意見を聴くなど内容を充実させ、回数を増やして実施する。	
市民相談課	市政モニター実施事業	改善	市政への市民の関心を高めるため、新たな手法として市民に気軽にアンケートに答えていただき、アンケート終了後3日以内に回答結果の公表を行う「携帯・スマホアンケート」を11月～1月に試行実施し、有効なツールについて検証を行うとともに、平成25年度も引き続き試行実施する。また、「(仮称)市民まちづくり基本条例」の制定にあたり、市民参画手法に係る検討内容と整合を図りながら、新たな市政モニタリング事業の実施に向けて取り組む。	平成24年度 二次対象事業 (25年度再検討)
市民相談課	インターネットアンケートシステム(パブリックコメント)事務	現状のまま継続	広く市民の意見を聴取する手法として、インターネットアンケートの実施を庁内に呼びかける。また、事前に案の趣旨や内容等を公表し、市民意見を募集するパブリックコメントについては、実施要綱にもとづき適正運用に努め、他市の状況も調査していく。	

所管部署	事務事業名	今後の方向性	具体的な取り組み内容	備考
市民相談課	市民相談課運営事務	現状のまま継続	課内での情報の共有化を図り、効率的な事務遂行に努める。	
人権政策室	「平和の日」記念事業	現状のまま継続	平和の燈火、平和メッセージ発信、平和資料室特別展、講演会等啓発事業を開催する。	
人権政策室	平和に関する啓発事業	現状のまま継続	憲法のつどい、平和資料室特別展など啓発事業を開催。	
人権政策室	平和の鐘啓発事業	現状のまま継続	確実なメンテナンスを続け、平和の記念日に正確に鳴らすことにより、平和意識の醸成に努める。	
人権政策室	非核平和都市宣言推進事業	現状のまま継続	日本非核宣言自治体協議会とも連携し、啓発事業に取り組む。	
人権政策室	人権啓発事業	現状のまま継続	枚方人権まちづくり協会と情報交換や会議を開催しながら事業内容を決定し、啓発事業を実施する。	
人権政策室	人権擁護委員関係事務	現状のまま継続	枚方地区人権擁護委員会の円滑な活動を支援する。	
人権政策室	枚方地区人権擁護委員会補助事業	現状のまま継続	枚方地区人権擁護委員会の円滑な活動を支援する。	
人権政策室	特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会関係事務	現状のまま継続	運営等への助言等を行い、また、事業の進捗状況を把握し、自立した運営を行えるよう支援を行う。	
人権政策室	特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会活動補助事業	現状のまま継続	活動補助金を交付し、自立に向けた支援を続ける。	
人権政策室	枚方市人権尊重まちづくり審議会運営事務	現状のまま継続	引き続き、様々な立場の委員から、多様な人権課題について意見を聴取し、人権施策に反映させる。	
人権政策室	人権ケースワーク事業	現状のまま継続	積極的なPRに努める。ケース診断会議を開催し情報の共有化を図り、困難な事例について意見交換を行う。	
人権政策室	DV防止事業	改善	配偶者暴力相談支援センター機能の整備に向け、人的配置や設備整備などDV被害者が安心して相談できる環境の整備を進める。	
人権政策室	女性のための各種相談事業	現状のまま継続	相談状況に適切に対応し、事業を実施していく。	

所管部署	事務事業名	今後の方向性	具体的な取り組み内容	備考
人権政策室	男女共同参画啓発事業	現状のまま継続	枚方市男女共同参画推進条例及び第2次枚方市男女共同参画計画(平成23(2011)年度から平成27(2015)年度)に基づき、各種啓発事業に取り組んでいく。その際、多数の市民にご参加いただけるような講座の内容の工夫や広報等に努めていく。また、例えば市内の企業に啓発講座の開催を申し入れるなどの手法も併せて検討していきたい。	平成24年度 二次対象事業
人権政策室	ウィルフェスタ開催事業	現状のまま継続	地域のNPOやボランティア団体との連携により、多様な事業を企画し積極的な啓発に取り組む。	
人権政策室	男女共同参画計画推進事業	現状のまま継続	第2次男女共同参画計画に基づき、取り組みを推進する。	
人権政策室	人権政策室運営事務	現状のまま継続	引き続き、適正かつ効率的な事務執行に努める。	
人権政策室	枚方市男女共同参画推進審議会運営事務	現状のまま継続	引き続き、審議会が円滑に運営されるよう事務局を担う。	